大浦の丘

本年度テーマ「絆づくりと確かな学力」

長崎市立大浦中学校
学校便り　NO．2
令和４年５月１８日発行
文責：校長　竹市保男

キャッチフレーズ：「絆づくりは、明るく元気で大きなワンストップ挨拶から」

令和４年度　大浦中体育大会開催！！

昨年度、一昨年度の体育大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いずれも９月に延期しての実施でした。しかし、今年度は、来賓の方々や保護者の皆さんに参加いただき、予定通り５月１５日（日）に実施することができました。本当に良かったです。

最近はずっと雨模様で、本番の雨を心配しながら当日を迎えました。しかし、そんな心配をよそに、本番当日の天候はくもり！！・・・多少霧雨がぱらつくことがありましたが、最高の体育会日和となりました。生徒の皆さんの体育大会にかける「思い」や「願い」が、神様に届いたのだろうと思いました。

さて、体育大会のスタートは入場行進です。大きな掛け声とともに入場行進が始まりました。堂々とした行進です。「しっかりと前を向き、元気で大きなかけ声とともに、力強い手の振りと足の動作・・・、集団としてのまとまりがとても美しい最高の行進でした。皆さんのこの体育大会にかける「思い」や、「決意」が伝わってくる「行進」だったと思います。

入場完了後、間髪を入れず開会式が始まりました。運動場には、「元気で大きな挨拶の声」が響きます。まさに、大浦中が目指す「明るく、元気で、大きな挨拶」でした。さらに、一つひとつの機敏な動作やメリハリのある集団行動で、生徒たちの全員の士気でますます高まったようです。この開会行事を見て、校長先生は、皆さん成長を肌で感じることができ、とても嬉しかったです。生徒の皆さん・・・ありがとう。そして、よく頑張りました。恐らく、応援に駆けつけてきてくれた来賓や保護者の方々も、行進から開会式までのほんの数十分の間に、同じような思いを感じたのではないでしょうか。

昨年一昨年と、コロナ感染防止の影響で、大きな声を出すことを自粛してきました。しかしながら、今年度の体育大会は、大きな声で元気よく、機敏な集団行動がとてもさわやかな大浦中本来の体育大会が戻ってきました。ご指導いただいた坂本先生を始め、全先生方ありがとうございました。

話は変わりますが、１年生の皆さんは、入学して２か月めに入りました。今はまだ中学校生活に慣れるのに精一杯の所だったと思います。初めての体育大会でしたが、先輩達に教えてもらいながら、楽しそうに頑張っていましたね。２年生の皆さんは、１年生をやさしくリードしながら、先輩らしさを随所に見せてくれていました。競技や係への取組は、後輩の手本となるような立派な動きでした。３年生の皆さんは、今日まで、後輩達を引っ張ってくれました。３年生がリーダーとして、頑張ってくれたから、今日の体育大会が迎えられと言っても過言ではありません。応援合戦も最高の盛り上がりでした。３年生の皆さん本当にありがとう。

今日の大会テーマは、「一秒に全力を」、サブテーマが「　～大中の翼を大空へ～　」でした。このテーマのように、生徒一人ひとりが、一つひとつの演技や競技に真剣に向き合い、集中して最高のパフォーマンスを発揮してくれたことは、こらからの学校生活にも大きくプラスになっていくことでしょう。今回の大会テーマ・・・、「一秒に全力を！　～大中の翼を大空へ～　」は、十分に達成できたと思います。最後になりましたが、生徒たちの頑張りに、最後まで温かな声援を送っていただいた来賓の皆様、保護者の方々、地域の方々ありがとうございました。これからも、生徒たちの成長を温かく見守っていただければ幸いです。

R4年度大浦中学校体育大会入場行進

100m ・ 200m

走れメロス

キャリー ボム ボム

大浦タイフーン

写真のとおり、立派な入場行進でした。元気な掛け声、力強い手の振りと足の動作に、壇上で見ていた私も心引き締まる思いでした。そして、何より良かったのは、みんなが、自分のために、チームのために、最後まで手を抜かず一生懸命頑張っていたこと。みんなが楽しそうに競技を頑張っていたことでした。よく頑張ったね！！